

平成25年4月9日
セプターカウンシル

セプターカウンシル総会第5回会合の開催について

重要インフラの情報セキュリティ対策の向上を図るため、重要インフラ各分野のセプターが連携して情報共有を行うセプターカウンシルの総会第5回会合を開催しました。開催に当たり、世耕 弘成内閣官房副長官からご来賓の挨拶をいただきました。

セプターカウンシルの新旧議長団の交代、入会を希望するセプター、2012年度の活動報告概要及び2013年度の活動計画概要は、以下の通りです。

新旧議長団の交代について

これまでセプターカウンシル総会議長を務めた青木 隆典氏(放送 CEPTOAR 代表)、並びに副議長を務めた鈴木 毅氏(損害保険 CEPTOAR 代表)が退任し、新たに議長に篠原 秀典氏(生命保険 CEPTOAR 代表)、副議長に須貝 俊司氏(自治体 CEPTOAR 代表)を選出した。

入会を希望するセプターについて

セプターカウンシルへの入会を希望していたケーブルテレビCEPTOARの入会が、総会の総意により認められました。

2012年度の活動報告概要について

1. 活動概要

設置要綱「2. 活動」に基づき、幹事会及びワーキンググループにおいて以下の活動に取り組んだ。

- (1) 分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有に取り組んだ。
 - 情報セキュリティ対策の強化に資する情報収集に取り組むとともに、ベストプラクティスの事例紹介等により、情報共有の拡充を図った。
 - 各セプターでの活動状況やセキュリティ対策への取り組み体制、IT の利用状況の情報共有を行い、相互理解の促進を図った。
- (2) 重要インフラのIT障害の未然防止等のため、重要インフラ事業者等に密接に関連する情報を、内閣官房情報セキュリティセンター等より重要インフラ事業者等へ提供する体制の調整及び管理に取り組んだ。
 - WG等にて、共有すべき情報の在り方及び共有範囲を限定する体制・仕組み等を検討し、具体的な情報共有プロジェクトとして、「HPレスポンス観測活動」や「セプターカウンシルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制」を運用し、情報共有を推進した。

(3) 分野横断的な共通課題の発見及び共通認識の醸成に、各セクター及び内閣官房情報セキュリティセンターが連携して取り組んだ。

- 各セクターにおける情報セキュリティへの意識向上と対策強化に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関との意見交換等を行った。
- カウンシルの場を利用して分野間で注意喚起展開や互助活動を実施した。

2. 幹事会の活動

カウンシルの総合的な企画調整・運営を担い、カウンシル全体としての活動を検討するとともに、重要インフラ事業者のセキュリティ対策の向上に向けた情報共有体制について検討を行った。

- 延べ6回の会合を開催した。
- 毎回、出席者(各分野の幹事、オブザーバ、所管省庁、事務局)の間で、直近の活動等のトピックに関する情報交換を実施し、事業継続の上で重要なステークホルダーの動向を把握した。
- NISC主催の分野横断的演習(平成12年12月開催)に参加した各セクターにより、セクターカウンシルにおける標的型攻撃に関する情報共有の演習を行った。
- 「サイバー攻撃対応力向上の手引き」の修正について検討した。

3. 情報収集WGの活動

参加セクター間の知見の共有を図ることを目的に、オブザーバとの意見交換や、情報セキュリティ対策に係る政府・関係機関の動向や参考となる先駆的な活動、情報セキュリティの環境変化等に関する情報収集を行った。

- 延べ2回の会合及びセクターカウンシルセミナーを開催した。
- オブザーバ(NICT、JPCERT/CC、IPA)と情報セキュリティの取組みに関する意見交換を実施した。
- 情報セキュリティ 2012 やBCPの充実等のNISCの推進する施策、政策会議の開催について紹介・意見交換を行った。

4. 相互理解WGの活動

セクター・重要インフラ事業者間の相互理解の促進や信頼関係の深化を図ることを目的に、各セクターでの活動状況やセキュリティ対策への取組体制、ITの利用状況等の情報共有を行った。

- 延べ5回の会合を開催した。
- 各セクターにおけるIT活用の現場や情報共有の取組み等について、相互訪問し現場担当者を交え意見交換を実施した。
- カウンシル外の重要インフラ分野におけるIT活用の現場や情報共有の取組み等について、訪問し現場担当者を交え意見交換を実施した。
- セキュリティ関連企業の現場の視察及び意見交換を行い、最新のセキュリティ対策について理解を深めた。

5. 情報共有に関する検討推進 WG の活動

セプターカウンシルの場で行うセプター間の情報共有活動のアプローチ(要件や何を評価基準とするか等)を検討することを目的に、議論時間の取りにくい幹事会に対するディスカッション中心の場として活動を行った。

- 延べ10回の会合を開催した。
- カウンシルの場を実施する分野間での情報共有活動について議論を行った。
- HPレスポンス観測(別紙1参照)の活用状況を把握するために、参加事業者に対してアンケートを実施し、今後の進め方について検討した。
- 標的型攻撃に関する情報をセプターカウンシルに関わる重要インフラ事業者間等で共有することにより、重要インフラサービスへの攻撃の未然防止、もしくは被害低減、サービスの維持、早期復旧を容易にすることを目的として、運用規程をはじめとする諸規程を整備するとともに、「セプターカウンシルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制(C⁴TAP)」を整備した。(別紙2参照)
運用規程をはじめとする諸規程を策定するとともにウィルス検体を取扱う物理的環境を整備し、運用を開始した。

6. カウンシル活動を継続・発展させるためのその他の活動

カウンシルの広報活動やセキュリティ技術動向等に関する情報共有を推進するとともに、重要インフラのすべての分野が本カウンシルの構成員として加われるよう、働きかけを行った。

- 総会出席者を対象にした有識者による講演会を実施した。
- セプターカウンシル未参加のセプターに対して、セプターカウンシルの活動状況等について説明するなどして積極的に働きかけを行った。

2013年度の活動計画概要について

1. 設置要綱「2. 活動」に記載した活動

- (1) 分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有に取り組む
 - 引き続きベストプラクティス等の事例紹介により、情報共有の拡充を図る。
 - 各セプターでの活動状況やセキュリティ対策への取り組み体制、ITの利用状況等の情報共有を行い、相互理解の促進を図る。
- (2) 重要インフラのIT障害の未然防止等のため、重要インフラ事業者等に密接に関連する情報を、内閣官房情報セキュリティセンター等より重要インフラ事業者等へ提供する体制の調整及び管理に取り組む
 - これまでに検討・構築された「HP レスポンス観測活動」や「セプターカウンシルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制」による情報共有活動を、分野横断的演習(内閣官房情

報セキュリティセンター主催)などの機会を活用しつつ、運用の充実をはかる。

- セキュリティ対策の向上に向けた情報を提供する体制や共有範囲を限定することが必要とされる機微な情報を共有するための体制・仕組み、インシデント発生時等の緊急時における情報共有体制についての、新たな共有すべき情報の在り方等を、引き続き検討を進める。

(3) 分野横断的な共通課題の発見及び共通認識の醸成に、各セプター及び内閣官房情報セキュリティセンターが連携して取り組む

- 各セプターにおける情報セキュリティへの意識向上に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関やオブザーバ機関等との意見交換等を行う。
- セキュリティ技術動向や海外動向等、情報セキュリティ対策の強化に資する情報の収集及び知見の共有等に取り組む。

2. カウンシル活動を継続・発展させるためのその他の活動

- 報告会等の開催等セプターカウンシル全体としての活動を実施する。
- 必要に応じ、活動方法や運営方法、広報活動を見直す。
- 重要インフラのすべての分野から本カウンシルの構成員として加われるよう、引き続き働きかけを行う。
- その他セプターカウンシルの目的を達成するために幹事会が必要と認める事項を実施する。

【お問い合わせ先】

セプターカウンシル事務局（内閣官房情報セキュリティセンター）

電話：03-3581-3957

メール：CEPTOAR-Council@cas.go.jp

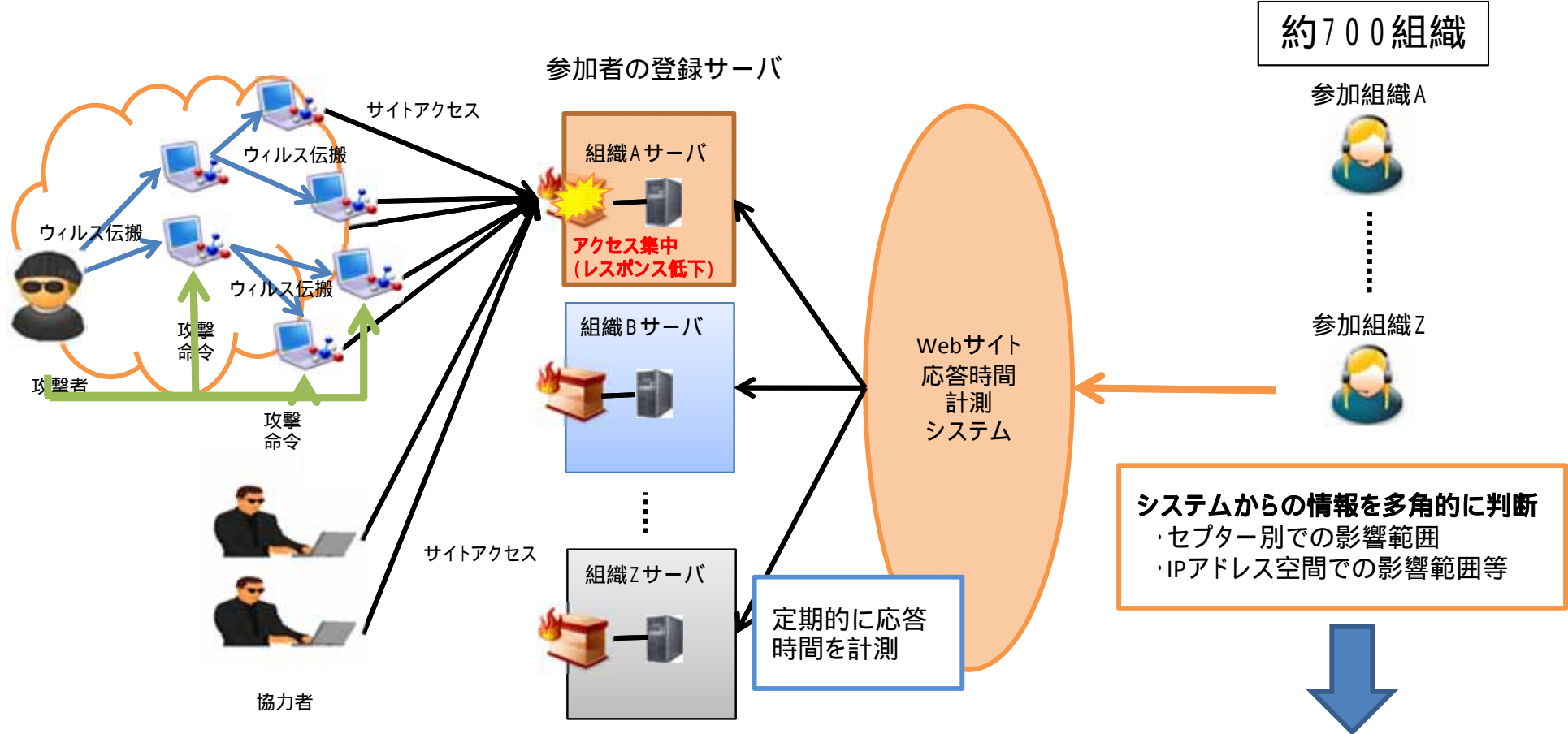
セプターカウンシルへの問い合わせはセプターカウンシル事務局までお願いします。各セプターでは対応をいたしかねますので、御注意ください。

セプターカウンスルにおける情報共有

別紙1

～ Webサイト応答時間計測システム ～

重要インフラ事業者が登録するWebサイトの応答時間を定期的に計測することで、サイトの動作状況を統計的に監視し、動作異常や外部からの大量のトラフィック等を検知し、複数の観測を複合的に見ることで、異常の早期発見・事実の確認、原因推測をより正確に行い、重要インフラサービス等の被害軽減、サービスの維持、早期復旧を容易にすることを目指す取組み



- ◆ IPアドレス空間を俯瞰し、インシデントの全容、関連性を把握
- ◆ 前兆をとらえることで対応時間の短縮、被害の最小化

セプターカウンシルにおける情報共有

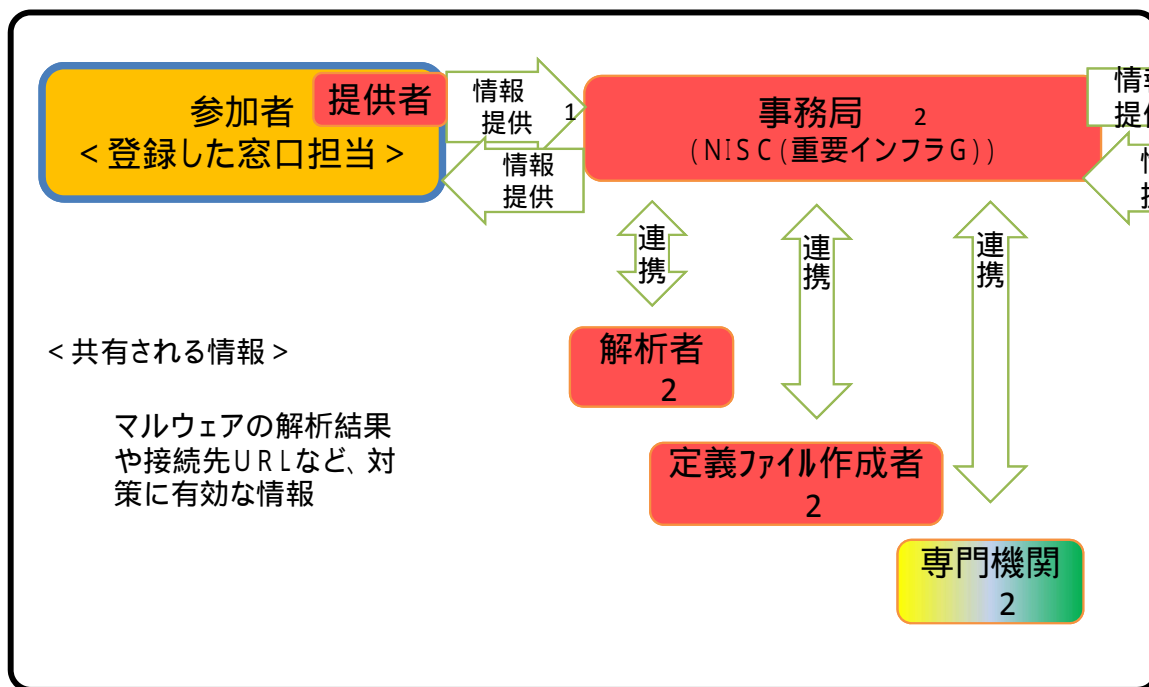
～ 標的型攻撃に関する情報共有体制 (C TAP) ～

別紙2

C⁴TAP: Ceptoar Council's Capability for Cyber Targeted Attack Protection

重要インフラ事業者において、標的型攻撃が疑われるメールについての一定情報を共有することで、より多くの標的型攻撃に関する情報を収集・共有し、重要インフラサービスへの標的型攻撃の未然防止、もしくは被害軽減、サービスの維持、早期復旧を容易にすることを目指す取組み

< 情報共有体制図 >



運用規程に合意し遵守することを
表明した他の情報共有体制

< 情報共有範囲の類型 >

共有範囲のイメージ

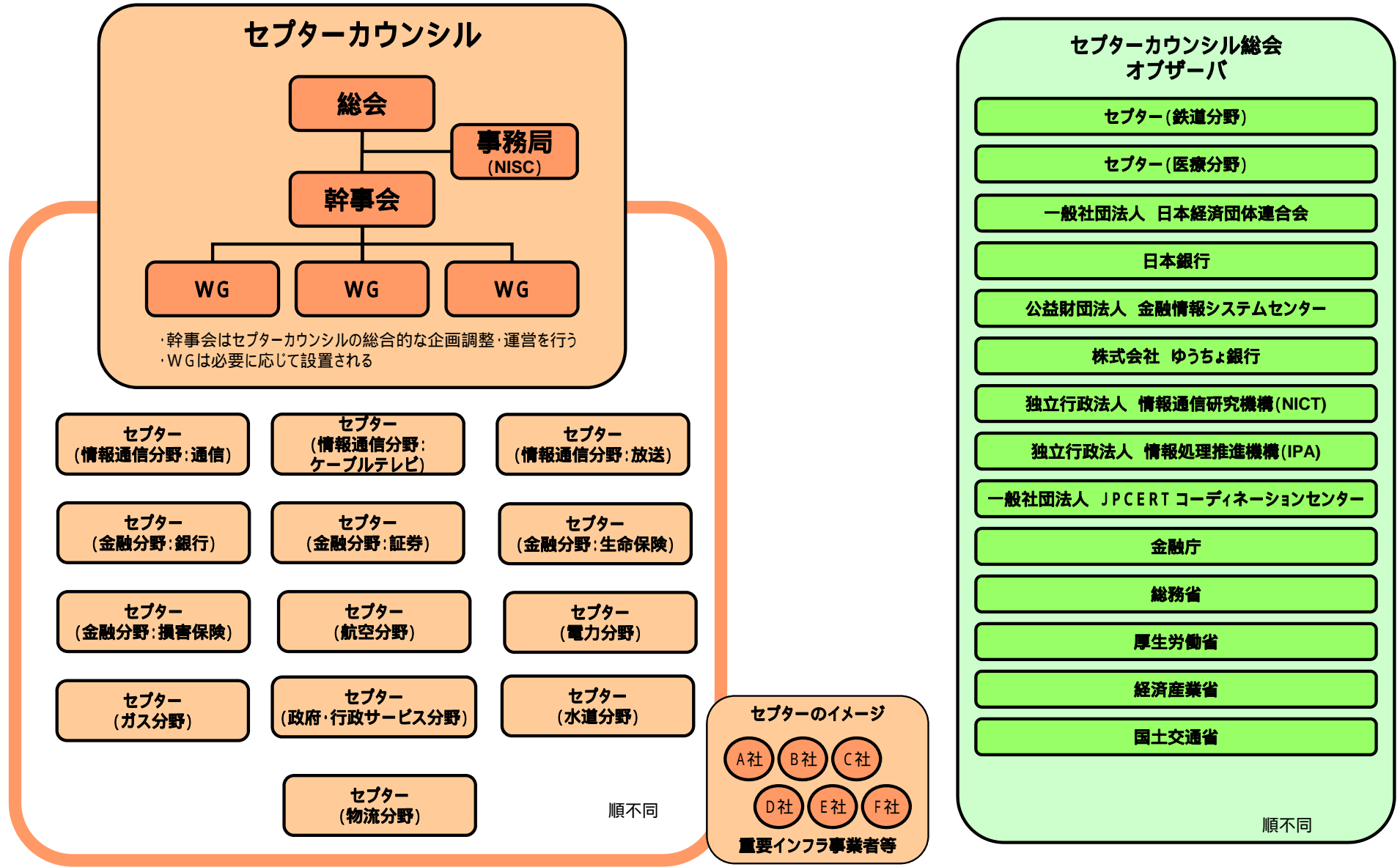
Red	情報提供者、事務局及び解析者限り	Red
Amber	Red + 参加者(セプターカウンシル構成員)	Amber
Yellow	Amber + 規程に合意し遵守することを表明したオブザーバ等	Yellow
Green	Yellow + 未参加のカウンシル関係者等	Green
White	公開可能	White

1 情報を扱う者(参加者、解析者等)は、本体制の運用規程を合意し、登録された者

2 情報提供者が、上記類型から、情報の種類毎に、情報共有範囲を指定

参加者 : 約350組織 (運用開始時)

セプターカウンシルの概要 (2013年4月現在)



- ・2009年2月26日に創設。
- ・2012年4月12日に開催された総会(第4回)より、ケーブルテレビCEPTOAR、ゆうちょ銀行、情報通信研究機構、情報処理推進機構、JPCERTコーディネーションセンターがオブザーバとして加盟。
- ・2013年4月9日に開催された総会(第5回)より、ケーブルテレビCEPTOARが正式に参加。

セプターカウンシルを構成するセプターの代表者一覧

セプター名		所属	氏名
情報通信	T-CEPTOAR	一般財団法人日本データ通信協会 テレコム・アイザック推進会議 会長	飯塚 久夫 (NECビッグロープ(株)顧問)
	ケーブルテレビCEPTOAR	一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 常務理事・事務局長	築島 幸三郎
	放送CEPTOAR	一般社団法人 日本民間放送連盟 事務局長	青木 隆典
金融	銀行等CEPTOAR	一般社団法人 全国銀行協会 事務委員長	安部 大作 (みずほフィナンシャルグループ 取締役副社長兼 副社長執行役員)
	証券CEPTOAR	日本証券業協会 常任理事・副会長 兼 CIO	増井 喜一郎
	生命保険CEPTOAR	社団法人 生命保険協会 情報システム委員長	篠原 秀典 (住友生命保険(相) 取締役 常務執行役員)
	損害保険CEPTOAR	一般社団法人 日本損害保険協会 理事 業務企画部長	鈴木 毅
航空分野におけるCEPTOAR		定期航空協会 IT専門委員代表	荘司 敏博 (日本航空(株) IT企画部副部長)
電力CEPTOAR		電気事業連合会 理事 事務局長	月山 将
GAS CEPTOAR		一般社団法人 日本ガス協会 副事務局長	和田 洋幸
自治体CEPTOAR		財団法人 地方自治情報センター 理事	須貝 俊司
水道CEPTOAR		公益社団法人 日本水道協会 理事長	尾崎 勝
物流CEPTOAR		一般社団法人 日本物流団体連合会 物流EDIセンター 調査役	磯貝 俊夫

セプターの概要

セプター名		事務局	構成員数
情報通信	T-CEPTOAR	一般財団法人 日本データ通信協会 テレコム・アイザック推進会議	27社・団体
	ケーブルテレビCEPTOAR	一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟	246社
	放送CEPTOAR	一般社団法人 日本民間放送連盟	194社・団体
金融	銀行等CEPTOAR	一般社団法人 全国銀行協会	1,561社
	証券CEPTOAR	日本証券業協会	253社8機関
	生命保険CEPTOAR	社団法人 生命保険協会	43社
	損害保険CEPTOAR	一般社団法人 日本損害保険協会	29社(含むオプザ-バ-3社)
航空分野におけるCEPTOAR		国土交通省 航空局 安全企画課	2グループ3機関
電力CEPTOAR		電気事業連合会	12社2機関
GAS CEPTOAR		一般社団法人 日本ガス協会	10社
自治体CEPTOAR		財団法人 地方自治情報センター	47都道府県1,742市町村区
水道CEPTOAR		公益社団法人 日本水道協会	8水道事業者
物流CEPTOAR		一般社団法人 日本物流団体連合会	16社6団体
鉄道CEPTOAR	1	国土交通省 鉄道局危機管理室	22社、1団体、1機関
医療CEPTOAR	1	厚生労働省 医政局研究開発振興課医療技術情報推進室	1グループ、2機関

1 オプザ-バとして参加